

2021年8月23日

横浜ゴム、インドネシアの海洋商品生産販売会社が 米国石油協会の「API Spec Q1」認証を取得

横浜ゴム（株）の海洋商品生産販売会社である横浜工業品製造インドネシア（PT Yokohama Industrial Products Manufacturing Indonesia=YIID）は6月、米国石油協会が発行する品質規格「API Specification Q1 9th Edition」（以下、API Spec Q1）の認証を取得しました。同規格は石油、石油化学、天然ガス産業に関わる組織の品質マネジメントシステムを定めた世界的に影響力を持つ規格で、組織や商品の信頼性向上に貢献します。

同認証を取得したのは、石油商品・原油の移送に使用されるホースと、船同士や船と岸壁の間の緩衝材として使われる空気式防舷材です。ホースでは海上・岸壁で使われるマリンホース、洋上においてタンカー間で用いるSTS（Ship to Ship）ホース、主に岸壁・タンカー間で用いる汎用ホースのOSD（Oil Suction & Discharge）ホースで取得、空気式防舷材は直径2.5m以下の商品で取得しました。

横浜ゴムはマリンホースや空気式防舷材において世界トップクラスのシェアを誇ります。マリンホース「Seaflex（シーフレックス）」ブランドは60年以上にわたり原油荷役で主要な役割を担っており、また、空気式防舷材は1958年に世界で初めて生産販売し、多くのお客様より高い評価を受けています。すでにマリンホースで「API Spec Q1」を取得している当社に続いてYIIDも取得したことでグループ全体での信頼性が一段と高まります。なお「Seaflex」は両社で石油会社国際海事評議会の国際型式認証「GMPHOM2009」も取得しています。

YIIDは2014年4月に設立。インドネシア・バタム島東部のカビル工業団地にある工場では2016年からマリンホースと空気式防舷材を生産販売しています。

横浜ゴムは2021年度から2023年度までの中期経営計画「Yokohama Transformation 2023（YX2023）」（ヨコハマ・トランスフォーメーション・ニーゼロニーサン）に取り組んでいます。MB事業では強みであるホース配管事業と工業資材事業にリソースを集中してMB事業の成長を牽引し、安定収益を確保できる構造を目指しています。その施策のひとつとして海洋商品では高シェア維持と生産基盤強化を掲げており、石油業界や石油メジャーへの営業活動を加速化するとともに、商品力とブランド力の強化を進めています。

このリリースに関するお問い合わせ先
横浜ゴム（株）経営企画部 広報室 担当：山崎
TEL：03-5400-4531 FAX：03-5400-4570